



千代田っ子

学校だより
令和6年度
第10号

令和7年1月31日



令和6年度 期末学校評価 集計結果について

11月、児童並びに保護者と教職員を対象にしたアンケートを実施しました。

今回のアンケートも、7月と同様によりよい学校づくりのために本校が取り組んできた教育活動について、児童・保護者・教職員の三者が、各項目についてどのように捉えているかを比較できるような形で実施しました。

アンケート結果は、千代田小学校の教育の成果と課題を探る貴重なご意見として、教育活動の改善に役立ててまいります。ご協力いただき、ありがとうございました。

項目	設問	対象	評価項目	アンケート結果 * グラフは%	今回		比較	7月								
					4+3	評定		4+3	評定							
全般	wakuwaku	児童	楽しく学校に通っている。		92.2	A	↗	93.0	A							
		保護者	お子さんは、楽しく学校に通っている。		93.3	A	↗	94.1	A							
		教員	子供たちは、楽しく学校に通ってきている。		100.0	A	=	100.0	A							
	コミュニケーション	児童	進んであいさつをしたり、しっかり返事をしたりしている。		92.0	A	↗	92.8	A							
		保護者	お子さんは、進んであいさつをしたり、しっかり返事をしたりしている。		84.7	B	↘	83.8	B							
		教員	子供たちは、進んで挨拶をしたり、しっかり返事をしたりしている。		51.5	D	↘	48.6	D							
	設問1の「楽しく学校に通っている。（来ている。）」の評定が三者ともAでした。しかし、若干、7月の結果と比較し、児童と保護者の数値が下がっているところが気になります。設問2のあいさつや返事については、7月の結果と同様、児童の評価がAの評価であることに比べ、保護者はB、教員はDの評定となり、三者の意識のずれが見られました。児童にとってはあいさつや返事をしているつもりであっても、相手には伝わっていないという現状が伺えます。				改善策				《学校では》 今後も、一人一人の児童に寄り添って関わり、不安や悩みを少しでも解消し、楽しい学校生活に繋がるようにしていきます。また、保護者が安心して、お子さんを学校へ送り出せるように、学校の様子についての情報発信に努めます。 あいさつや返事については、生活委員のあいさつ運動や教職員の声掛けとともに、学習規律10項目の中の「名前を呼ばれたら『はい』と返事をする。」という項目を毎日のめあてにするなどにして、意識させていきます。				《家庭では》 ○家庭での会話の中で、学校の様子を話題にあげていただき、頑張りをほめたり、心配や不安がないか聞いていただけるようにお願いします。 ○家庭の中で、「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」「ありがとうございます」など自然にあいさつが出ること、名前を呼ばれたら「はい」と返事をするなどの習慣付けをお願いします。			
	かしこく「進んで」	3	児童	自分の考えや思いを相手に伝えるように話すことができる。		77.1	B	↗	83.6	A						
			保護者	お子さんは、自分の考えや思いを相手に伝えるように話すことができる。		75.8	B	↘	73.6	C						
教員			子供たちは、自分の考えや思いを相手に伝えるように話すことができる。		63.6	C	↗	70.3	C							
4		児童	学校の勉強がよく分かる。		91.5	A	↘	88.6	B							
		保護者	お子さんは、学習内容をよく理解している。		79.5	B	↘	78.1	B							
		教員	子供たちは、学習内容をよく理解している。		87.9	B	↘	83.8	B							
5		児童	タブレットを使って自分で学習を進めることができる。		96.1	A	↘	93.2	A							
		保護者	お子さんは、タブレットを使って自分で学習を進めることができる。		87.8	B	↘	87.7	B							
		教員	子供たちは、タブレットを使って自分に合った学習を進めることができる。		97.0	A	↘	81.1	B							
設問4では、児童、保護者、教員とも学習内容の理解が7月の結果より数値が上がっています。設問5のタブレットの活用と関わり、児童一人一人がICT機器を活用して、個に合った学びができるようになってきた成果が学習内容の理解に繋がっていると考えられます。ただ、理解はしていますが、設問3の自分の考えや思いを話すことについては、児童と教員の評価が7月に比べ下がっています。				改善策				《学校では》 設問3に関わって、ICT機器を活用して個に合った学びを進めると同時に、友達と考えを伝えあう協力的な学びの時間も意識して取り入れていきます。また、委員会活動や選挙の取組など児童同士が考えを伝えあう場を大切にしていきます。 教師と児童の対話の中でも、教師の一方的な話にならないように、「どうして?」「どんな気持ち?」など、児童の言葉を引き出す対話を心がけます。				《家庭では》 設問3に関わって、お子さんの思いや考えを引き出して、お子さん自身が自分の言葉で伝えられるように、見守っていただけるようにお願いします。 設問4に関わって、毎日の宿題・家庭学習の様子を見ていただき、家庭での学習習慣の定着の声掛けと理解度の把握をお願いします。				

やさしく「仲間と」	6	児童	友達によさに気づき、力を合わせることができる。	61.729.27.21.9	90.8	A	↗	91.0	A		
		保護者	お子さんは、友達によさに気づき、力を合わせることができる。	37.051.710.70.6	88.7	B	↗	91.1	A		
		教員	子供たちは、友達によさに気づき、力を合わせることができる。	30.360.69.0	90.9	A	↗	91.9	A		
	7	児童	自分にはよいところがあると思う。	46.731.611.710.0	78.3	B	↗	82.2	B		
		保護者	お子さんは自分のよさに気付いている。	16.559.323.50.6	75.8	B	↗	79.3	B		
		教員	子供たちは、自分のよさに気付いている。	6.175.818.20.0	81.8	B	↗	83.8	B		
	8	児童	いじめは絶対に許されないという思いをもち、誰にでも思いやりをもって接することができる。	81.516.10.51.9	97.6	A	↘	95.8	A		
		保護者	お子さんは、いじめは絶対に許されないという思いをもち、誰にでも思いやりをもって接することができる。	52.941.60.05.5	94.5	A	↘	93.8	A		
		教員	子供たちは、いじめは絶対に許されないという思いをもち、誰にでも思いやりをもって接することができる。	30.369.70.0	100.0	A	↘	97.3	A		
	9	児童	千代田っ子の約束を守り、人に迷惑をかけない生活をしている。	55.538.44.61.5	93.9	A	=	93.9	A		
		保護者	お子さんは、「きまり」や「やくそく」を守って生活している。	30.055.414.40.3	85.3	B	↗	86.6	B		
		教員	子供たちは、千代田っ子の約束を守り、人に迷惑をかけない生活をしている。	9.169.721.20.0	78.8	B	↘	70.3	C		
設問8は、児童、保護者、教員ともAと高い評価となり、7月の評価の数値よりも上回っています。児童会のいじめ防止の取組やいじめアンケートの取組により、いじめは絶対許されない行為であるという意識が根付いてきました。設問7の自分のよさについては、「1」の評価をつけた児童が10%と7月の評価より増加していることは、課題としてしっかり受け止めます。設問9については、教師と児童の評価の差が大きく、きまりを守る意識について、すれが見られていますが、7月に比べてそのすれは少なくなっています。				【学校では】 設問7について学校での教育活動の中で、児童一人一人のよさや頑張り、成長を直接、または学級全体へ伝えることで、改めて児童一人一人のよさに気付いたり、自信をつけたりすることにつなげていきます。また、設問9については、学級で継続してきまりを守ろうと声掛けを続けると同時に、なぜ「きまりを守る」ことが大切なのかについて道徳の時間や普段の学級指導の中で継続的に児童に伝えていき、きまりを意識した行動につなげていきます。				【家庭では】 ○日ごろからお子さんのよさや頑張りについて、家庭でも伝えていただけるようにお願いします。 ○家庭での約束を設定し、それを守れるように、声掛けを続けていただくこと、なぜ守ることが必要かを伝えていただけるようにお願いします。			
たくましく「最後まで」	10	児童	最後まであきらめずに取り組んでいる。	62.029.07.81.2	91.0	A	↗	91.8	A		
		保護者	お子さんは、最後まであきらめずに取り組んでいる。	27.252.319.31.2	79.5	B	↗	80.0	B		
		教員	子供たちは、最後まであきらめずに取り組んでいる。	15.272.712.10.0	87.9	B	↘	83.8	B		
	11	児童	元気よく遊んだり、運動したりしている。	71.819.07.31.9	90.8	A	↗	91.8	A		
		保護者	お子さんは、元気よく遊んだり、運動したりしている。	57.828.112.21.8	85.9	A	↗	92.0	A		
		教員	子供たちは、元気よく遊んだり、運動したりしている。	54.530.315.20.0	84.8	A	↗	97.3	A		
	12	児童	自分や周りの人の安全を考えて行動している。	61.632.80.25.4	94.4	A	↗	95.8	A		
		保護者	お子さんは、自分や周りの人の安全を考えて行動している。	31.552.915.00.6	84.4	B	↗	85.6	B		
		教員	子供たちは、自分や周りの人の安全を考えて行動している。	9.154.536.40.0	63.6	C	↗	67.6	C		
設問10、11については児童、保護者、教員ともB以上の評価がつかしました。目標を明らかにして、それに向かって取り組もうと児童が努力できていることがよい結果につながっています。設問12については、児童がAの評価となっているのに対して教員はCの評価と、その差が大きく、意識のすれが見られます。校内では廊下歩行、校外でも交通安全について、注意喚起することが多くありますが、児童にとっては自分の都合が優先となり、危機感を感じられていない可能性もあります。				【学校では】 ○設問11に関して、今後も限られた運動スペースを活用して、なわとびやウィンタースポーツなど工夫した体力づくりを進めていきます。3学期は、グラウンドでのスキー授業も取り入れ、体力づくりをしていきます。 ○設問12に関して、「3つのあ（あいさつ・安全・歩き方）」の徹底を全教職員が意識して児童に指導をしていきます。→廊下の見守り、登校・下校時の道路での見守り、継続的な学級指導など。				【家庭では】 ○家庭の中で、メディアにふれる時間を限定し、その他の時間で体を動かす機会を積極的につくっていただけるようにお願いします。冬季は特に家にこもりがちになりますので、冬休みはスキーなどウィンタースポーツを楽しむ機会をつくってみませんか。 ○登下校や放課後の交通安全について、ご家庭での継続的な声掛けをお願いします。特に冬道となる冬季は登下校の際の危険性が高まります。日も短くなるので、早めに帰宅するなど安全面の声掛けをお願いします。			

【数値や評価について】

* 4(青)：あてはまる 3(緑)：だいたいあてはまる

2(黄)：あまりあてはまらない 1(赤)：あてはまらない

* 「4+3」の肯定的な評価の割合で評価。90%以上-A、75%以上-90%未満-B、60%以上-75%未満-C、60%未満-D